

グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 46号
2019. 3月

発行: NPO法人
みどりの市民
〒380-8553 長野市若
里 4-17-1 信州大学
工学部 UFO ながの
高木研究室内
発行人: 高木直樹

飯縄山環境保全活動～飯縄山携帯トイレ管理～30年度活動報告

理事 田中 守



今日、冬場は雪崩等で危険なため使われていない「夏道」の点検に行ってきた。飯縄山は冬季には、駒つなぎより上部は、「冬道」として真っ直ぐ登るルートになっています。

今年は、積雪は少なかったのですが、思いのほか残雪が多かったです。人の歩いた後をカモシカも登っていく足跡が見られました。

常連の登山者の協力も得て
ブース点検・登山道整備も無事

行うことができました。

31年度は、クルマユリの保護・増殖活動を行いたいと思っています。尾根筋のクルマユリの保護、かつてあった戸隠中社登山道側にも、クルマユリを植栽し未来に残せていけたらと思います。(2019年3月22日 記)



30年度の飯縄山携帯トイレ使用個数は264個

携帯トイレブースオープン期間は4月22日～12月25日でした。

昨年度から、常連登山者の協力で登山した日は点検見回りをお願いし、今年度は98回点検できました。

この使用数を見ると、春・秋の登山者数が多いのが分かります。ブース利用者としては個人で持参した携帯トイレを使用された物が回収ボックスに入っているのが確認されました。まだまだ利用者のマナーの向上が必要と思われます。



「飯縄山便り」は飯綱高原観光協会のHPに掲載されています

携帯トイレの月毎の使用数

月	使用個数
5月	43
6月	59
7月	34
8月	28
9月	14
10月	59
11月	21
12月	6
30年度使用総数	264

写真は「飯縄山便り」より

とき：12月4日（火）

視察先：(株)長野地方卸売市場

ホテルブレストンコート

今回は、事業所におけるごみの減量とリサイクルの取り組みについて学ぶために、2つの企業をバスで視察研修。あまり経験できない場所の見学ができる！といつもより多い20名の参加者は楽しみにしながら出発しました。バス内では普段なかなか交流が出来ないアドバイザー同士、会話が盛り上がっていました。

<長野地方卸売市場リサイクル施設>



日本一美しい市場をめざして、1988年民営長野地方卸売市場開設時から多種の資源化リサイクルを行

っています。市場全体のリサイクル率は80%超を達成し、長野市のながのエコサークルゴールドドラック認定もされています。リサイクルの協力企業の直富商事(株)の施設を見学してきました。

生ごみの堆肥化施設は市場内の事業者限定で受け入れ処理を行っています。堆肥製造機の中に

生ごみと米ぬか、内城菌という発酵菌を投入し加温・攪拌し熟成を進め雑菌、植物の種を死滅させて堆肥化させています。完成品はサラサラのきれいな粉状！皆さん触ってみたり臭いを嗅いだりして、自宅で作る生ごみ堆肥との違いに驚いていました。製品は個人へ販売しているということです。この施設だけで処理しきれない生ごみは七二会で飼料用に加工され、直富商事の農場でも利用されています。

他にも魚腸骨の飼料化・堆肥化や廃食用油のリサイクル(食用油の塗料原料化とディーゼルエンジン燃料化)など、地域で出るごみの処理も見学しました。家庭とは違う企業としての立派な取り組みを見ることが出来ました。

<星のや軽井沢 ホテルブレストンコート>

(株)星野リゾート軽井沢事業部は2000年から「運営によって生じる廃棄物の単純焼却、埋立てごみゼロ＝リサイクル100%」のゼロミッションを目標に活動し、2011年に業界初リサイクル100%を達成、経済産業大臣賞を受賞しました。

- ・徹底した社員教育→29品目の正確な分類、部署ごとに廃棄物を計量し目標設定や達成度を把握
- ・食品ロスの削減対策→披露宴での着席後のメニュー選択方式の採用、発生した生ごみを堆肥として再資源化しその堆肥で育てた野菜を仕入れ再び提供



参加者からの感想

- ・どちらの施設も従業員全体に環境教育訓練が行き届いている。見えない所で立派な活動をしている事業所があることに感動
- ・「星のや」はお客様に分別を求めているが、2分別位は伝えることを星のやから始めて欲しい。
- ・見学中に社員の方がゴミ捨てに来たのですが、29品目もの分類を迷うことなく分別をしている姿を見て、継続的に、そして全社員に徹底して高い意識があることに驚きました。

2月5日に第3回生ごみ減量アドバイザー研修会として東京大学名誉教授の松本聰氏が「生ごみリサイクルと土壌」の講演を行いました。参加者は市内や小布施町などの他市町村から併せて73名で、その内訳は、アドバイザー20名ほか一般、行政関係者、農業関係者などでした。



≪ 講義の主な内容 ≫

「団粒構造」

団粒は土のみに作られる粒状または塊状の黒色物質で、水はけが良い一方で保水性に富む土壌。空隙が多く水分量、空気量、有機物量が一つ一つ異なり種々雑多な微生物が生息していて、農地の生産性が高いか低いかは、ほぼ団粒が発達しているかどうかで判断でき、地力の根源といえる。土の中の小動物や微生物の有機分解を持続させるために生ごみを土に戻すことが重要。

「エントロピー」

循環のないシステム＝エントロピーの増大が大きい社会＝活力のない社会（生ごみを化石燃料により焼却、二酸化炭素を放出し地球の温暖化を進めるシステム）循環のあるシステム＝エントロピーの増大の少ない社会＝活力のある社会（生ごみなどの有機物を土に戻して食糧、延いては富や文化を蓄積していくシステム）

講義では専門的なお話の中にユーモアも交えて説明いただき、みなさんとても興味深く講義に集中していました。マンションやアパート暮らしが増え、土に触れる機会の少なくなっている時代ですが、自分たちの生活の中で出来る取り組みや、生ごみの堆肥化の大切さを再確認したとても有意義な時間でした。≪ 報告：浅野（アドバイザー兼スタッフ） ≫

【皆さんからのご感想】

- ・堆肥化する意味を知り、モチベーションが上がった。周囲にも伝えていけたら良いと思います。
- ・土の大切さを学び、後世に引き継ぎたいと思いました。

【質問と回答】

Q.土に生ごみと落葉が良いと言われていましたが、病気の落葉はよけなければいけないのでしょうか。腐植して良い土にはならないのでしょうか？

A.落ち葉はどんなに病気にかかった物でも全く問題はありません。病害菌は落ち葉に混ぜた段階で落ち葉分解菌が食べ尽くしてしまうので分ける必要はありません。

*みどりの市民は長野市より生ごみ減量アドバイザーの研修事業を受託してこの事業の企画運営をしています。

マイバッグ持参率 「67.5%」過去最高!!



みどりの市民が参加しているながの環境パートナーシップ会議レジ袋削減チームが、3月14日15日に実施したマイバッグ持参率調査の結果が67.5%と、調査を始めてから最高となりました。これは、長野市内5つのスーパーマーケットで毎年行っている調査で、平成20年から長野市内の市民団体と協力して行っています。実施した店舗はレジ袋有料が2店舗、2円引きが1店舗、レジ袋無料配布が2店舗の計5店舗で、10:30~12:30の2時間、レジ付近での目視による実測値です。男女を比較するとやはり男性の持参率が低いですが、マイバッグ持参者は男女ともに以前よりも確実に増えています。目標は80%です。(ながの環境パートナーシップ会議レジ袋削減チームリーダー渡辺)

みどり農園へ行こう！

みどり農園便り

太陽と風と大地を感じ、仲間と一緒に育てる楽しさ、収穫の喜びを感じてみませんか。

☆畑が待っています。みんなでみどり農園に行こう！

◇ 2019年度畑のスケジュール ◇

- | | |
|-------------------|-----------|
| ・ ジャガイモ、モロコシ種まき | 4月13日（土） |
| ・ 草取り（耕耘） | 5月18日（土） |
| ・ 大豆種まき、薩摩芋植え、草取り | 6月8日（土） |
| ・ 草取り、土寄せ、モロコシ収穫 | 6月29日（土） |
| ・ ジャガイモ収穫、草取り | 8月3日（土） |
| ・ 薩摩芋掘り・大豆収穫・収穫祭 | 10月12日（土） |
| ・ 焼き芋大会・大豆脱穀・畑片付け | 11月9日（土） |

畑の場所：長野市若穂川田地区
（榑丸水長野県水東側）

*原則現地集合時刻は午前9時

畑の5分の4...大豆畑
畑の5分の1...野菜（さつ
ま芋、トウモロコシ、ジャ
ガイモなど）

トピックス1

「どんぐりるるネット」ながのまちづくり 活動支援事業 補助金獲得

昨年からの淡竹会との協働で試験的に取り組んでいた「どんぐりるるネット～生ごみと竹基材と野菜の循環～」が、ながのまちづくり支援事業の補助金を獲得、いよいよ4月から本格的に始まります。昨年度の参加者からは、「一次生成物が回収され又新しい基材も来るのでやりやすい」など好評です。今年目標会員数は30名。現在会員募集中です。

トピックス2

「エシカルふえす」開催を目指して 実行委員会立ち上がる

エシカル（倫理的・道義的）消費を広めようと「エシカルふえす」開催のための実行委員会が設立されました。7月27日28日の「信州環境フェア」会場内での同時開催となり、事務局はみどりの市民内です。現在スタッフ募集中。



お知らせコーナー



どんぐりるるネット会員募集

会員は段ボール堆肥の実践をして、ケチャップと淡竹の水煮をゲット。

生ごみの一次生成物は自宅まで回収に。新しい基材（竹チップ・パウダー）を提供。キッチンも段ボールの中もいつもさわやか！

年会費A会員（個別回収配達）1500円

B会員（拠点回収・配達）1000円

（詳細はみどりの市民へ）

《みどりの市民総会》

とき：5月11日（土）10時～12時半

ところ；ふれあい福祉センター第2会議室

お土産：みどり農園産大豆製きな粉

【4月～6月行事予定】

4月5・6日 味噌作り

4月13日（土）みどり農園

4月14日（日）エコサロン（摘み草レシピで春を味わう）

5月9日（木）みどりの市民理事会

5月11日（土）みどりの市民総会

5月7日（火）27日（月）6月11日（火）

生ごみ減量アドバイザー養成講座

6月2日（日）水環境調査

6月14日（金）エコサロン（豆腐作り）

☆FMぜんこうじコトコトの省エネ学級

毎月第4水曜日 8：40～8：50

〒 380-8553 長野市若里4-17-1信州大学工学部

UFO ながの高木研究室内

TEL&FAX 026-269-5092

E-mail midorit@shinshu-u.ac.jp

URL http://midorinoc.sub.jp/



《編集後記》工学部内に移転して10ヶ月。夏から秋そして冬、ようやく芽吹き春、もうすぐ新入生で賑やかなキャンパス。少しでもそのエネルギーを頂き活動していきたいと思ひます。（キャンパスの一隅にてH）